

事業計画書

事業名	Weekend ENGLISH SUPPORT in Numazu
実施場所	沼津市大手町 El Pasito ほか
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2019年 4月 5日 ~ 2020年 3月 31日

◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載して下さい(事業の紹介などで使用します)。

英語に自信がある高校生が先生役となって、市内の中高生と英語のスキルを共有する場を創り出す。同年代の高校生が講師役になることで、参加者は学ぶというよりもサークル活動のように楽しく英語に親しみ、英語力をつけながら仲間を増やすことができる。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか(事業を行うきっかけ(地域の問題点や課題、社会背景など)や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか)を記載して下さい。

- 社会貢献活動を志向する高校生に、社会参加・自己実現の機会を提供する。
- 高校生の社会参加を支援することで、地域に対する愛着を持ってもらう。
- 市内の中高生の間に学校・年齢を超えたローカルコミュニティの形成を図る。
- ◇中高生が気軽に英語を学べ、仲間を増やすことができる場を作る。
- ◇沼津の中高生の英語に対する苦手意識の克服や英語スキルの向上につなげる。
- ◇ネイティブな英語に触れてもらい、これからより必要となるグローバルコミュニケーションをとっていける若者を地域に増やす。
- ◇無料レッスンとし、家庭環境から習いたくても習えない子たちにも、英語に触れ楽しむ場を提供する。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
○運営体制	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>縁あって昨年より意欲ある高校生の、英語を通じた社会活動を支援することができた。初期メンバーから下級生に引き継がれたこの活動を継続するため、引き続きバックアップさせてもらいたいと考えている。</p> <div style="text-align: center;"> </div>

	(項目中、○印明朝体は成人スタッフ、◇印ゴシック体は高校生スタッフによる文章)
◇実施内容	<p>高校生が企画する「Weekend ENGLISH SUPPORT in Numazu」の実施内容は以下のとおり。</p> <p>沼津市内の中高生を対象に、気軽に英語を学ぶ機会を提供する。講師役は、暁秀高校バイリンガルコースに通う英語に自信のある高校生が務める。</p> <p>同年代の高校生が講師役になることで、参加者は学ぶというよりもサークル活動のように楽しく英語に親しみ、英語力をつけながら仲間を増やすことができる。</p> <p>昨年よりスタッフの人数が増えるので、レッスンは受講者の希望に応じて「英語を楽しむ・親しむ」グループと「英語のスキルを磨く」グループに分けて行うことを考えている。</p> <p>2グループとも、レッスンの内容としては次の5点を重点的にやる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発音 (phonix からやる。正しい発音を身につけてもらう。日本人特有のアクセントをなくす) 2. 文法 (subject-verb agreement:主語と動詞の対応, articles:冠詞, 等) 3. 文章を書く (架空の外国人の友達に英語で手紙/メールを書いてみよう、将来働いた時に使える英語のスキル、短い小論文を書く練習、等) 4. 読解・読書 (英語の文章に触れる。スタッフがオススメの英書などを紹介する) 5. コミュニケーション (日常で使われる英会話などにも慣れてもらう) <p>毎回、レッスン1時間、Refreshment Time30分(希望者)の構成とする。 Refreshment Time : 英語のフリートークセッションで、お菓子などを用意し、気楽な雰囲気の中で、英語で自由に会話を楽しむ。Current Events (一人ずつ最近のニュースを英語に2分程度にまとめて皆に紹介する。エンターテインメント、政治、現地ニュース、自分のことなど、なんでもいい。そこから話を広げる。)講師はこの際、キーワードをピックアップして教室のホワイトボードに書いて皆で後で意味を確認する。よりネイティブの会話に近い英語 (slang や idiom を使った英会話) に触れてもらうことが目的。</p>
◇年間スケジュール	<p>4月 告知・募集開始 チラシ・ポスターを作成・印刷し、市内の中学校・高校に配布 公式ウェブサイトの作成と公開、参加者募集</p> <p>4月末 レッスン準備</p> <p>5月 オリエンテーション</p> <p>5月～7月 レッスン (3回)</p>

7月末	スタッフが集まって前半半年の反省、改善点、後半の半年のスケジュール決め等を行う
夏休み	
9月頭	スタッフが集まって残り半年の目標を立てる
9月～12月頭	レッスン（7回）
11月	来年度の後継者募集
冬休み	スタッフが集まって夏休み後からの反省、改善点、後半の半年のスケジュール決め等を行う
1月～3月	レッスン（6回） 後継者も補助スタッフとしてレッスンに参加
3月末	お疲れ様会 後継者のための模擬レッスンを開催
◇実施場所	主に新仲見世商店街 El Pasito（テレビのイマイ2階）
◇参加対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語が好き ・ 英語に対する苦手意識をなくしたい ・ 英語を楽しく学びたい ・ 実際に英語を使ってみたい ・ 英語力を伸ばしたい人 ・ 英語を通じて沼津市中に同年代の友達を増やしたい。 <p>という願望があって学ぶ意欲のある中高生</p>
◇日時	原則として毎月第2・第4金曜日 18時～19時30分 （Refreshment Timeを含む） スタッフ、レッスン生の定期試験、学校行事などと重なる場合、夏休み・冬休みは休講
◇参加者募集	チラシ・ポスターを作成・印刷し、市内の中学校・高校に配布するほか、公式ウェブサイト・Instagram・Twitterで参加者を募集。 申し込みは、ホームページ上で申し込みフォームを公開して基本情報（名前、性別、メールアドレス、電話番号等）を入力して送信してもらう。それが完了したら一年中自分が来れる時に来ることができる。 毎回のレッスン情報はメール配信する。
◇ウェブサイト	E サポはウェブサイトを運営しています。これまでのレッスンの様子などを記載しておりますので、ぜひご覧ください。 リンク： https://esaponumazu.wixsite.com/englishsupport

	「沼津 E サポ」と検索してもできます。
○補足	<ul style="list-style-type: none"> ・レッスンには、必ず成人が帯同する。 ・レッスン会場の解錠、施錠は成人が行い、レッスン中は会場入口を施錠する。 ・レッスン生には、初回にレッスン参加に関する保護者承諾書の提出を依頼。 ・レッスン生に対する保険加入。

◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。</p> <p>◇沼津の中高生の英語力が向上する</p> <p>↓</p> <p>沼津から今までより多くのグローバル人材が排出される</p> <p>○沼津の中高生に地域との関わりを提供する（ローカルコミュニティ）</p> <p>↓</p> <p>参加者が中高生の頃から地元を意識するきっかけとなり、沼津に戻ってくる若者が増える</p>			
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <p>参加登録 30 人</p> <p>平均出席者数 10 人</p>	指標の検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <p>ウェブサイトでの参加登録者と毎回のレッスンの出席者をカウント</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>◇グローバル化が進み、これから社会に出て行く若者は英語に触れる機会が増えることが考えられるが、ネイティブな英語を身につけることは難しい。</p> <p>◇そのような状況の中でネイティブな英語に楽しく触れられる機会を提供することは中高生にとっても将来使えるスキルとして残る。</p> <p>◇よって、英語の需要がなくなる限りこのサービスはこれから社会に出る学生にとって有用であり、必要である。</p> <p>○高校生の社会参加の機会を創出することで、地域を意識し、地域とつながるきっかけとなる。</p> <p>○また、「言語教育特区」に認定され「言葉を用いて積極的に人と関わっていかうとする態度の育成」を目標としている沼津市の教育方針にも合致している。</p>
地域性	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>◇沼津にいる中高生が「英語を上手に話せるようになりたい!」と思った時に気軽に参加できるような機会を提供したい。</p> <p>◇沼津にも外国籍の住民や旅行者が増えており、今後、英語が役に立つ機会はますます増えると考える。</p> <p>○人口減少傾向が顕著な沼津市において、より多くの若者に地元に残ってもらい、もしくは大学等で専門知識を学んだ後に地元を就職の選択肢としてもらうためのきっかけを作りたい。</p> <p>○沼津の中高生の中に、英語を通じて学校以外のつながり（ローカルコミュニティ）ができ、地域に対する愛着を持ってもらうことによって、若者が沼津に留まる効果を期待する。</p>

<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>◇この事業の新規性や独自性は、高校生が講師役となり、ほぼ同年代の人たちに何かを自分たちで教えるというところにある。</p> <p>◇立場が平等という設定を利用することで参加者は楽しく、無理なく英語を学ぶことができる。</p> <p>○高校生が社会的活動をしたいと考えたときに、地域との接点となって活動を支援する仕組みには、新規性・先導性があると考えている。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>◇運営は下級生に毎年引き継ぎ、OBがサポートしていく仕組みをつくっていく。</p> <p>◇また、参加者もスタッフ等として継続的に関わられるようにしていきたい。</p> <p>◇これによって、参加するメンバーが増えるに連れてEサポを通してできるネットワークが広がる。</p> <p>◇回を重ねていくことで参加者がEサポに求めていることをフィードバックすることができ、よりよいカリキュラムにすることができる。</p> <p>○この活動を嚆矢として、社会参加をしたい高校生の相談窓口、活動支援のプラットフォームとなっていきたいと考えている。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>◇初年度の活動を通じて、伸ばすべき点、改善すべき点が明らかになっているので、よりよいレッスンを提供することができる。</p> <p>◇学校にもEサポの活動を説明しており、協力を得られている。</p>
<p>活動に対する 熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>◇Eサポは2018年度に様々な団体から活動を認められました。多くの新聞社に取り上げていただき、ライオンズクラブから千本賞をいただきました。これらは日頃の努力が認められたということで、スタッフにとってもとても喜ばしいことでした。来年度に向けて、スタッフ一同ますますやる気になっています。</p> <p>○1年の活動を経て、高校生スタッフの調整力、主体性の高まりなど、目を見張るものがある。地域活動を通じて自分たちでアイデアを出しあい、実行していく場があることは、地域に根ざし活躍する人材育成という側面でも非常に有効だと感じる。今後も、「どうしたらできるのか」を高校生とともに考え、実行力を高めよう、学生による地域活動支援が行える団体へと進化させていきたい。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

- ◇運営を引き継いでもらえる下級生を募集し、OBがサポートしていく仕組みをつくっていく。
- ◇来年度のスタッフは、再来年度もまだ高校2年生なので、下級生と一緒によりよいレッスンを提供できるようにしたい。
- ◇これまでのレッスン参加者にスタッフとして関わってもらったり、交流会をしたりしたい。
- 「ボランティアで地域の中高生に英語を教えたい」こんな高校生の相談から始まったEサポですが、1年の事業実施を経て今後の活動を以下のように広げていきたいと考えています。
 - ・Weekend English support の活動を軸に、高校生と地域社会とのコミュニケーションをとっていく機会を提供していく（地域活動団体とのコラボレーションなど）。
 - ・高校生が地域と関わる中で「こうしてみたい、やってみたい」と感じたことを具体性をもって検討し企画することをサポートする。また必要な人材をつなげ実現に近づけていく役割を担う。
 - ・こうした活動を続け、高校生が主体性をもって地域活動を行っていくことを支援する市民団体として成長していく。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

E サポを一年間運営してみたの改善点、伸ばしたいところを今年度・来年度のスタッフで話し合いました。

◇問題点

1 毎回の参加者を増やす

5月のオリエンテーションには15人を超える参加者がいましたが、その後のレッスンは毎回5~8人程度でした。部活やテストなどの都合もあったかと思いますが、レッスンの難易度が高いと思われてしまった点があるかもしれません。Eサポに参加して、英語の苦手意識がもっと増えるようなことは避けたいです。そこで、スタッフの人数が増える来年度は、クラスを「英語を楽しむ・親しむ」グループと「英語のスキルを磨く」二つの大きなグループに分けることを考えています。

2 スタッフの準備不足

今年のスタッフは皆高校2年生でした。学校の勉強や課題と並行してレッスンを運営することはやはり容易ではありませんでした。しかし、来年度のスタッフは現在中学3年生、来年高校1年生となります。来年度のスタッフはレッスンの内容を事前にしっかり計画・準備し、必ず完璧な状態でレッスンを提供すると決めています。また、来年は役割分担をはっきりさせることで、スタッフ一人一人の責任感を向上させます。

◇伸ばしたいところ

- ・Eサポでは通常のレッスン以外にも refreshment time で学校の宿題の手伝い、スピーチコンテストのサポート、受験の面接対策、なども行いました。これらのサービスは参加者からもとても評判が良く、感謝されることが多いので、受け継いでいきたいです。
- ・Eサポの魅力の一番はやはり無料、料金がからないということです。これは、スタッフがボランティアでレッスンを提供しているからです。とは言え会場の使用料がかかるなど、このシステムを持続するにはやはり、資金の提供が必要です。どうぞ今年もよろしくお願い致します。